

技術士 1 次試験に合格して



荒木 大星

(あらき たいせい)

勤務先

株式会社 荒木測量設計株式会社

業務部

〒070-0825 旭川市北門町 14 丁目

TEL 0166-51-0878 FAX 0166-54-2969

E-mail T-araki@araki-ms.co.jp

■ 専門：建設部門

自己紹介

私は旭川市出身で、旭川工業高校の土木科を卒業後、鉄道会社へ就職しました。そこでは、線路内工事の発注、積算、施工計画、施工管理を担当し、原価、品質、工程、安全管理を行い、施工プロセスを学びました。5 年間勤務し、縁あって現在の荒木測量設計(株)へ転職をしました。ここでは、主に河川測量、河川構造物の点検、設計等を行っています。前職とは、業務内容が全く異なりますが、設計をやるうえでは、施工管理の経験が強みになると思うので前職の経験を活かして業務を行っていきたいと考えています。

受験のきっかけ

荒木測量設計(株)に入社して次年度に、測量士を取得しました。他に自身のスキルアップや会社の業務に役立つ資格がないかと調べたところ、技術士の存在を知りました。技術士は、この業界において最高峰の資格で、技術士の取得で業務を行うにあたり高い信頼を得ることができ、会社にとっても業務の幅が広がると考え、技術士への挑戦を決意しました。

技術士一次試験を終えて

基礎科目、適性科目、専門科目、全て 5 割以上の解答で合格という試験内容でした。特に基礎科目では、科学技術全般の基礎知識を問われ、出題の難易度でいうと大学卒業程度の数学や物理学等でした。私は高卒なので、参考書の過去問を解くのに非常に苦労しました。しかし、試験に合格したい気持ちが強くあり、前向きに試験勉強に取り組むことができました。試験前日までひたすら過去問を解いて試験

に挑み、無事に合格することができました。

技術士二次試験に向けて

私は、建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)で受験する予定です。業務経験が浅く受験資格ギリギリでの受験となり、一次試験の時よりも更に勉強する必要があります。加えて、業務をしながらの試験勉強になるので、いかにして勉強時間の確保をするかが課題となります。解決策としては、隙間時間を活用することです。通勤時間、現場への移動時間、昼休み等で事前に勉強した内容を録音したものを聞くなどで隙間時間を勉強時間として活用していきます。これにより、勉強時間の確保を可能とし、二次試験に向けての準備ができると思います。

今後の展望

私は、技術士は早期取得に意義があると考えます。なぜなら、技術士を早期取得することで、早期に裁量権を持ち業務を遂行できるからです。従って、技術者としての資質が高まり早期に成長できると考えます。私は、技術士を早期取得して業務での活躍や業務へのやりがいを見出すとともに、会社、業界全体の発展に貢献したいと考えています。

最後に

合格祝賀会で、たくさんの技術士の方と交流することができ、良い刺激を頂きました。ありがとうございました。また、二次試験の願書作成や筆記試験の論文作成において添削又はアドバイス等を協力して頂いてる方々にこの場を借りて心より感謝申し上げます。